

# 江戸の町名主 研究文献目録

本目録は江戸の町名主に関する研究文献目録であり、本報告書を編集するにあたって参照した文献、および編集までに調査し得た文献をまとめたものである。配列は著者・編者の五十音順、同一著者・編者のものは年代順とし、原則として刊行された名主の史料集に付された解説は含まれていない。(編集：高山慶子)

## あ行

- 石井研堂『錦絵の改印の考証——一名錦絵の発行年代推定法——』(伊勢辰商店、1920年、1932年に増補改版刊行)
- 石井良助「家質の研究」(『国家学会雑誌』73-3、1959年、後に同著『近世取引法史』創文社、1982年に収録)
- 石井良助編『江戸町方の制度』(人物往来社、1968年、増補新訂版が1995年に新人物往来社より刊行)
- 岩切友里子「天保改革と浮世絵—国芳の揃物を中心にした錦絵の動向と名主単印試考 付、『シタ売』についての私見」(『浮世絵芸術』143、2002年)
- 岩切友里子「天保一三年の掛り名主の改について」(『浮世絵芸術』154、2007年)
- 牛米努「五十区制の形成と展開—維新期東京の統治機構—」(『歴史評論』405、1984年)
- 牛米努「江戸町名主島崎家の家督相続について」(『史叢』50、1993年)
- 牛米努「東京府における大区小区制の形成と展開」(『地方史研究』246、1993年)
- 牛米努「慶応期の都市騒擾と維新期の町法改正」(東京都江戸東京博物館都市歴史研究室編『江戸東京博物館シンポジウム報告Ⅰ(江戸東京学の現状と課題) 明治維新时期を都市民はどう生きたか』1997年)
- 牛米努「コメント 小林報告」(『関東近世史研究』58、2005年)(※小林報告：小林信也「天保改革以後の江戸の都市行政—諸色掛名主の活動を中心に—」)
- 漆畑弥一「『江戸名所図会』上梓の頃—斎藤月岑の日記から—」(『日本古書通信』44-2、1979年)
- 大野祥子「江戸における名主の性格とその意義—名主組合を中心にして—」(『論集きんせい』14、1992年)
- 小野正雄「市中かるきもの」(佐々木潤之介編『日本民衆の歴史4 百姓一揆と打ちこわし』三省堂、1974年)

## か行

- 片倉比佐子「明治初年東京府の史料収集—『正宝録』の購入に関連して—」(『史誌』28、1988年)
- 片倉比佐子『大江戸八百八町と町名主』(吉川弘文館、2009年)
- 片倉比佐子「江戸町名主の家」(『本郷』83、2009年)
- 加藤貴「江戸『町』の制度史的研究—名主制を中心として—(修士論文概要)」(『早稲田大学大学院文学研究科紀要』26、1981年)
- 加藤貴「寛政期江戸名主の経済状況」(日本史攷究会編『日本史攷究』文献出版、1981年)
- 加藤貴「天保期江戸名主の不正に対する張訴」(『民衆史研究会会報』19、1982年)
- 加藤貴「江戸町鑑」(『民衆史研究』24、1983年)

- 加藤貴「名主役料からみた江戸の地域構造」（『歴史地理学』125、1984年）
- 加藤貴「名主」（『江戸東京学事典』三省堂、1987年）
- 加藤貴「寛政改革と江戸名主」（『国立歴史民俗博物館研究報告』14、1987年）
- 加藤貴「江戸町鑑の世界」（『文化財の保護』22、1990年）
- 加藤貴「江戸町鑑とその周辺」（加藤貴編『江戸町鑑集成』第5巻、東京堂出版、1990年）
- 加藤貴「神田雉子町名主市左衛門と支配町」（『江戸の風景—江戸城築城から大江戸へ—』千代田区立四番町歴史民俗資料館、2003年）
- 加藤貴「江戸の家屋敷売買と名主」（日本史攷究会編『日本史攷究と歴史教育の視座』早稲田大学メディアミックス、2004年）
- 角和裕子「新刊紹介 片倉比佐子『大江戸八百八町と町名主』」（『年報都市史研究』18・都市の比較史、2011年）
- 川崎房五郎『江戸八百八町』（桃源社、1967年）
- 川崎房五郎「江戸草創名主吉沢主計の逃亡」（『選挙』37-4、1984年）
- 川崎房五郎「享保の行政改革—実らなかった名主世襲制度廃止—」（『選挙』39-5、1986年）
- 川崎房五郎「享保の行政改革—名主世襲廃止中止の影響—」（『選挙』39-6、1986年）
- 川崎房五郎「天保改革と名主の不精勤」（『選挙』39-7、1986年）
- 川崎房五郎「天保改革における物価取調べと名主の活用」（『選挙』39-8、1986年）
- 川崎房五郎「諸問屋再興と町年寄・名主の活躍1」（『選挙』39-9、1986年）
- 川崎房五郎「嘉永の諸問屋再興と町年寄・名主の活躍2」（『選挙』39-10、1986年）
- 川瀬一馬「弘化の勧進能について 附弘化勧進能絵巻について」（『弘化勧進能と宝生紫雪』わんや書店、1942年）
- 菊池貞夫・小林忠・村上清造『原色浮世絵大百科事典』第3巻、様式・彫摺・版元（大修館書店、1982年）第6章「改印—錦絵の出版検閲印—」
- 北原進「江戸の町人支配機構と幕府の監察制度」（東京都江戸東京博物館都市歴史研究室編『江戸東京博物館シンポジウム報告2（江戸東京学の現状と課題）江戸東京における首都機能の集中』1999年）
- 荃田佳寿子「江戸諸法度」（『明治大学刑事博物館年報』10、1978年、後に同著『江戸幕府法の研究』巖南堂書店、1980年に収録）
- 黒岩博之『矢部与兵衛—徳川治世を支えた江戸町名主物語—』（私家版、2004年）※『麹町名主矢部与兵衛—江戸から明治初期を支えた名主父子物語—』として<http://www.geocities.jp/h1929kuroywa/yabe/mae.html>で公開されている。
- 幸田成友「江戸の名主について」（『史学』2-4、1923年、後に「江戸の名主」として『幸田成友著作集』第1巻、中央公論社、1972年などに収録）
- 幸田成友「江戸の市制」（『岩波講座日本歴史』1933年、後に『幸田成友著作集』第2巻、1972年に収録）
- 幸田成友『江戸と大阪』（富山房、1934年、後に『幸田成友著作集』第2巻に収録）
- 幸田成友「馬込勘解由」（『経済学研究』4、1935年、後に『幸田成友著作集』第2巻に収録）
- 幸田成友「正宝録の編者」（『社会経済史学』8-10、1939年）
- 小國喜弘「幕末江戸周縁部の町・町名主に関する一考察—『辻氏御用留』の分析を中心に—」（『論集きんせい』12、1990年）

後藤新平『江戸の自治制』（二松堂書店、1922年）

小林信也「天保改革と江戸の名主—都市支配機構と天保改革—」（藤田覚編『幕藩制改革の展開』山川出版社、2001年、後に小林著『江戸の民衆世界と近代化』山川出版社、2002年に収録）

小林信也「史料紹介 江戸の名主文書『重宝録』について」（『東京大学日本史学研究室紀要』6、2002年）

小林信也「天保改革以後の江戸の都市行政—諸色掛名主の活動を中心に—」（『関東近世史研究』58、2005年）

小林信也「世話掛名主の設置と名主の人物評定」（『江戸 1829-1833』東京市史稿産業篇第52 解説の手引き、2011年）

小宮山綏介「江戸町奉行の事附与力同心町年寄役人等の事」（国学院編『法制論纂』大日本図書、1903年）

## さ行

斎藤岩蔵『お竹大日如来』（羽黒町観光協会、1965年）

斎藤好信『江戸市井人—斎藤月岑伝—』（私家版、1963年）

坂本忠久『近世都市社会の「訴訟」と行政』（創文社、2007年）

佐藤悟「名主双印試考」（『浮世絵芸術』129、1998年）

佐藤孝之・鶴田啓・松本良太「大日本古記録 斎藤月岑日記 二（史料編纂 刊行物紹介）」（『東京大学史料編纂所報』34、1999年）

佐藤孝之・鶴田啓・松本良太「大日本古記録 斎藤月岑日記 三（史料編纂 刊行物紹介）」（『東京大学史料編纂所報』36、2001年）

佐藤孝之・鶴田啓・松本良太「大日本古記録 斎藤月岑日記 四（史料編纂 刊行物紹介）」（『東京大学史料編纂所報』38、2003年）

渋谷隆一・鈴木亀二・石山昭次郎『日本の質屋—近世・近代の史的研究—』（早稲田大学出版部、1982年）

杉本長重「名主・地主・家主・大屋など（川柳江戸職業往来）」（『国文学』解釈と教材の研究9、1964年）

鈴木亀二『近世質屋史談』（私家版、1972年、増補版が1986年に行人社より刊行）

鈴木亀二『近世質屋史稿』（行人社、1984年）

## た行

高牧實「斎藤月岑・滝沢馬琴両家の生活にみる祭祀」（『聖心女子大学論叢』94、2000年）

高山慶子「深川獵師町の名主」（『人間文化論叢』6、2004年、後に同著『江戸深川獵師町の成立と展開』名著刊行会、2007年に収録）

高山慶子「江戸檜物町草分名主星野家文書について」（『東京都江戸東京博物館研究報告』13、2007年）

高山慶子『江戸深川獵師町の成立と展開』（名著刊行会、2007年）第3章「代官と町奉行の両支配体制」

高山慶子「江戸町名主の金融—大伝馬町名主馬込勘解由を事例として—」（『史学』77-2・3、2008年）

高山慶子「大伝馬町名主馬込家文書と関連資料について」（『東京都江戸東京博物館調査報告書第21集 大伝馬町名主の馬込勘解由』2009年）

高山慶子「大伝馬町の馬込勘解由」（『東京都江戸東京博物館調査報告書第21集 大伝馬町名主の馬込勘解由』2009年）

- 高山慶子「書評 片倉比佐子『大江戸八百八町と町名主』」（『史潮』新68、2010年）
- 高山慶子「江戸町名主の縁戚と交際—深川相川町名主相川家を事例として—」（『日本歴史』754、2011年）
- 高山慶子「江戸町名主の社会的位置—大伝馬町名主馬込家を事例として—」（志村洋・吉田伸之編『近世の地域と中間権力』山川出版社、2011年）
- 竹内誠「寛政—化政期江戸における諸階層の動向」（西山松之助編『江戸町人の研究』第1巻、吉川弘文館、1972年）
- 多田修「近世前期町方支配の開始と展開—江戸の名主の役割に注目して—」（『史報』5、1983年）
- 多田修「江戸町方支配に関する一考察」（『駒沢大学史学論集』17、1987年）
- 丹野美子「江戸町名主斎藤月岑の地震記編纂—江戸東京博物館蔵『安政見聞誌』をめぐって—」（『東京都江戸東京博物館研究報告』14、2008年）
- 丹野美子・高山慶子「斎藤月岑編著『安政見聞誌』について」（『東京都江戸東京博物館研究報告』14、2008年）
- 塚田孝「吉原—遊女をめぐる人びと—」（高橋康夫・吉田伸之編『日本都市史入門』Ⅲ人、東京大学出版会、1990年、後に塚田著『身分制社会と市民社会』柏書房、1992年に収録）
- 塚本明「都市構造の転換」（『岩波講座日本通史』14・近世4、岩波書店、1995年）
- 鶴田啓「『斎藤月岑日記』の幕末—外国人との関係の始まりを中心に—」（横浜開港資料館・横浜近世史研究会編『日記が語る19世紀の横浜—関口日記と堤家文書—』山川出版社、1998年）
- 鶴田啓・箱石大「大日本古記録 斎藤月岑日記 一（史料編纂 刊行物紹介）」（『東京大学史料編纂所報』32、1998年）
- 鶴田啓・松本良太「大日本古記録 斎藤月岑日記五（史料編纂 刊行物紹介）」（『東京大学史料編纂所報』40、2005年）
- 鶴田啓・杉森玲子「大日本古記録 斎藤月岑日記 六（史料編纂 刊行物紹介）」（『東京大学史料編纂所報』42、2007年）
- 鶴田啓・杉森玲子「大日本古記録 斎藤月岑日記 七（史料編纂 刊行物紹介）」（『東京大学史料編纂所報』44、2009年）
- 鶴田啓・杉森玲子「『大日本古記録 斎藤月岑日記 八』出版報告（史料編纂）」（『東京大学史料編纂所報』46、2011年）
- 東京市京橋区役所編『京橋区史』（東京市京橋区役所、1937年）
- 東京市麹町区編『麹町区史』（東京市麹町区、1935年）
- 東京都編『江戸の発達』（東京都、1956年）※鷹見安二郎執筆
- 東京都編『区制沿革—名主制から区制への推移—』（都史紀要5、東京都、1958年）※鷹見安二郎執筆
- 東京都編『元禄の町』（都史紀要28、東京都、1981年）※片倉比佐子執筆
- 東京都江戸東京博物館都市歴史研究室編『東京都江戸東京博物館調査報告書第21集 大伝馬町名主の馬込勘解由』（2009年）
- 東京百年史編集委員会編『東京百年史』第1巻・第2巻（東京都、1973年・1972年）

## な行

中部よし子『近世都市社会経済史研究』（晃洋書房、1974年）第5章「享保改革における物価政策と都市救恤政策」

中村恵美「八代目団十郎とその役者絵―初期の舞台姿を中心に―」（『浮世絵芸術』113、1994年）

中村薫『神田文化史』（神田史蹟研究会、1935年）

中村孝也「江戸町方書上について」（『史学雑誌』30-4、1919年）

西木浩一「江戸町触の特質」（竹内誠編『徳川幕府と巨大城下町江戸』東京堂出版、2003年）

西山松之助「斎藤月岑日記抄録」（『東京教育大学文学部紀要』71、1969年）

西山松之助「斎藤月岑日記の明治」（『史潮』106、1969年）

西山松之助「江戸の町名主斎藤月岑」（西山松之助編『江戸町人の研究』第4巻、吉川弘文館、1975年）

西山松之助「斎藤月岑」「斎藤月岑日記」（『国史大辞典』第6巻、吉川弘文館、1990年）

野村兼太郎『江戸』（至文堂、1958年、1966年に増補版刊行）

## は行

長谷川光雄『長谷川家の伝承について』（私家版、1991年）

原田伴彦「近世初頭の門閥町人」（『大阪市立大学経済学年報』3、1953年、後に『原田伴彦論集』第3巻、思文閣出版、1985年などに収録）

## ま行

牧野宏子「川上太白書状三通―永野又次郎と文人たち（1）―」（『短大論叢』96、関東学院女子短期大学、1996年）

牧野宏子「黙々をめぐって―永野又次郎と文人たち（2）―」（『短大論叢』98、関東学院女子短期大学、1997年）

牧野宏子「書状一覧表―永野又次郎と文人たち（3）―」（『短大論叢』100、関東学院女子短期大学、1998年）

牧野宏子「品川東海寺輪番のこと（Ⅰ）―永野又次郎と文人たち（4）―」（『短大論叢』102、関東学院女子短期大学、1999年）

牧野宏子「品川東海寺輪番のこと（Ⅱ）―永野又次郎と文人たち（5）―」（『短大論叢』104、関東学院女子短期大学、2000年）

牧野宏子「東海寺輪番僧たちの品川生活―永野又次郎宛書簡より―」（『品川歴史館紀要』15、2000年）

<sup>まちびと</sup>市井人・斎藤月岑に学ぶ会編『市井人・斎藤月岑』（私家版、2003年）

<sup>まちびと</sup>市井人・斎藤月岑に学ぶ会編『翟巢通信』創刊号～（私家版、2009年～）

松崎欣一「江戸両伝馬町の成立過程及び機能について」（『慶応義塾志木高等学校研究紀要』1、1969年）

松崎欣一「江戸南伝馬町名主吉沢氏の失踪をめぐって―十八世紀後半における江戸伝馬町の伝馬役運営―」（『史学』44-2、1972年）

松平太郎『江戸時代制度の研究』（武家制度研究会、1919年）

松本四郎「凶作と打ちこわし」（佐々木潤之介編『日本民衆の歴史4 百姓一揆と打ちこわし』三省堂、1974年）

松本四郎「江戸の町方組織」（豊田武・原田伴彦・矢守一彦編『講座・日本の封建都市』第2巻、文一総合出版、1983年）



松本四郎『日本近世都市論』（東京大学出版会、1983年）

松本四郎「東京の『明治維新』」（『月刊百科』250、1983年）

丸山奈巳「享保から宝暦期における江戸町名主による小建築物の営繕に関わる文書についての考察—神田明神  
神事能舞台及び舞台を収納する土蔵の普請事例から—」（『日本建築学会計画系論文集』607、2006年）

丸山穂波「近世江戸町方（公共的）の小規模建築請負工事契約及び監理—享保から宝暦期の事例を通して—」（『日本建築学会大会学術講演梗概集』2004年）

三浦俊明「江戸城下町の成立過程—国役負担関係を通してみた町の成立について—」（『日本歴史』172、1962年）

水江漣子「町名主」（西山松之助編『江戸町人の研究』第4巻、吉川弘文館、1975年、後に「江戸名主の源流と  
系譜」と改題の上、水江著『江戸市中形成史の研究』弘文堂、1977年に収録）

水江漣子「町名主」（『江戸学事典』弘文堂、1984年）

南和男『江戸の社会構造』（塙書房、1969年）

南和男「江戸名主の代替りについて」（『國學院雑誌』80-11、1979年、後に「幕末名主の代替り」と改題の上、  
同著『幕末都市社会の研究』塙書房、1999年に収録）

森田晃一「江戸町名主関係史料『名主代替組合持月行事持場所取調帳』（『常民文化』12、1989年）

森田晃一「江戸町方の名主支配」（『岐阜女子大学地域文化研究』17、2000年）

森田晃一「江戸町名主の職務不正・怠慢について」（『岐阜女子大学紀要』32、2003年）

## や行

山田忠雄「近世都市民の闘争」（階級闘争史研究会編『階級闘争の歴史と理論2 前近代社会における階級闘争』  
青木書店、1981年、後に山田忠雄『一揆打毀しの運動構造』校倉書房、1984年に収録）

山田道夫「この名著に加筆を」（『季刊浮世絵』94、1983年）※「この名著」は石井研堂『錦絵の改印の考証』（以  
下同じ）

山田道夫「この名著に加筆を〔続〕」（『季刊浮世絵』95、1983年）

山田道夫「この名著に加筆を 補訂」（『季刊浮世絵』100、1985年）

湯浅淑子「仙女香と出版物の改掛」（竹内誠編『徳川幕府と巨大都市江戸』東京堂出版、2003年）

横山昭「『東都歳事記』を巡る謎—一通の書状から読む上方と江戸の情報ネットワーク—」（『美術史論集』10、  
2010年）

横山百合子「天保人別改令の再検討—都市住民の視点から—」（『史学雑誌』108-3、1999年、後に同著『明治  
維新と近世身分制の解体』山川出版社、2005年に収録）

吉田伸之「江戸南伝馬町二丁目他三町の町制機構と住民」（『論集きんせい』2、1979年、後に同著『近世巨大  
都市の社会構造』東京大学出版会、1991年に収録）

吉田伸之「正宝事録」（『国史大辞典』第7巻、吉川弘文館、1986年）

吉田伸之「江戸・檜物町」（高橋康夫・吉田伸之編『日本都市史入門』Ⅱ・町、東京大学出版会、1990年）

吉田伸之「名主」（高橋康夫・吉田伸之編『日本都市史入門』Ⅲ・人、東京大学出版会、1990年）

吉田伸之「おさめる：行政・自治—近世前期、江戸の名主を例として—」（大谷幸夫・羽田正・和田清美編『都  
市のフィロソフィー—都市とは何か、その本質—』こうち書房、2004年）

吉田伸之「近世前期、江戸町人地・内・地域の分節構造」(井上徹・塚田孝編『東アジア近世都市における社会的結合—諸身分・諸階層の存在形態—』大阪市立大学文学研究科叢書3、清文堂出版、2005年)

吉田伸之「江戸の都市社会」(森下徹・吉田伸之編『史料を読み解く2 近世の村と町』(山川出版社、2006年)

吉田伸之「江戸町触と『承知』システム」(塚田孝編『近世大坂の法と社会』清文堂出版、2007年)

吉原健一郎『江戸の町役人』(吉川弘文館、1980年)

吉原健一郎「十七世紀の江戸町方史料(一)—『日記言上之控』(元禄十三年)—」(『日本常民文化紀要』14、1989年)

吉原健一郎「町名主」(『国史大辞典』第13巻、吉川弘文館、1992年)

吉原健一郎「草創名主矢部家の系譜について」(『千代田の古文書—区内関連文献史料調査報告書—』千代田区教育委員会、2009年)

## ら行

李佶勲「代地を通してみる名主支配に関する研究—『町鑑』を中心に—」(『日本建築学会計画系論文集』76、2011年)

## わ行

渡辺浩一「日本近世の首都行政における蓄積情報の身分間分有と利用」(国文学研究資料館編『中近世アーカイブズの多国間比較』岩田書院、2009年)

渡辺浩一「日本近世都市における法令の伝達—掲げる・写す・印刷する—」(国文学研究資料館編『中近世アーカイブズの多国間比較』岩田書院、2009年)